

ケーススタディ: Infra-Metals社

仮想アプライアンスによるセキュアで信頼性の高いリモートアクセス

クリティカルアプリケーションへの柔軟性の高いネットワークアクセスとビジネス継続性を仮想化プラットフォーム上で実現する拡張性の高いソリューション

顧客やパートナー、潜在顧客とコンタクトを取る際、あらゆる情報やビジネスクリティカルアプリケーションにアクセスすることは、極めて重要なことです。

Infra-Metals社はネットワークオペレーションを合理化し、サーバを統合し、グリーンITイニシアチブをサポートする為、仮想化の動きに賛同すると共にセキュアで信頼性の高いリモートアクセスを提供する必要性から仮想リモートアクセスソリューションを導入しました。

Infra-Metals社について

1990年に設立され、アメリカペンシルバニア州のLanghorneに拠点を置くInfra-Metals社は、構造用鋼製品の主要販売業者です。米国の東海岸にある最も大きな構造用鋼サービスセンターの1つを含む米国のイーストコーストという戦略上優位な場所に位置しています。コネチカットからフロリダに至るカリブ海に広がる施設内に約500人の従業員を抱えています。Infra-Metals社外部の営業のプロフェッショナルや管理チームメンバー達は様々な場所へ出張に行く為、ビジネスアプリケーションへのセキュアなアクセスを必要としていました。10年以上の間、Infra-Metalsはセキュアなアプリケーション提供の為に、AEP Networks社(セキュアな通信、ネットワークの主要企業であり、ニュージャージー州Somersetに拠点を置く)のハードウェアベースのプラットフォームを利用してきました。ですが今では他の組織のように、物理的基盤からAEP Series A Secure Application Virtual Editionなどの仮想基盤へと移行していきました。仮想化の恩恵を享受したことに加え、Infra-Metalsは信頼性の高いアプリケーションアクセスと従業員が離れた場所からインターネット接続を通じて迅速且つ容易にモバイルまたはリモートにて、セキュアな通信を行える環境を提供することができるようになりました。

アプリケーションへのアクセス~いつでもどこからでも~

営業活動の調整は、Infra-Metalsの営業及び管理チームの大きなタスクの一部です。

ユーザの大部分がリモートアクセスを希望していなくても、サプライヤーや潜在顧客、既存顧客との交流があれば企業リソースや情報にアクセスする際の高い信頼性というものには期待されるものです。AVE(AEP Series A Secure Application Virtual Edition)は通信に関する課題をクリアすることのできる信頼性の高いソリューションとして認識されていますが、ネットワークオペレーションの合理化によるイニシアチブと、仮想化基盤へのマイグレーションといった観点から、Infra-Metalsの目を、物理的デバイスから仮想化アプライアンスへのリプレイスへと向けることとなりました。

Infra-Metals南部地域のITマネージャである、Nick Lazaridis氏は次のように述べています。“仮想化はちょうど今産業において大きな動きとして存在しています。これは技術統合や業務改善、コスト削減を行いビジネスの柔軟性をもたらすこととなるでしょう。物理的から仮想化へと変化を遂げる過程において、我々はサーバの多くを仮想化しており、AVEもその一つとして採用しています。そもそもプラットフォームをレンタルしてはいたのですが、長きにわたって我々はAVEを利用しています。AVEは我々のリモートアクセスに関する要件を満たし、インターネットアクセスが可能などどこからでもターミナルサーバ上の全てのアプリケーションへのアクセスを可能にした、まさに完璧なソリューションなのです。”

“ERPシステムやMicrosoft Office、Outlook Web Access、telnetアプリケーション、イントラネットをAVE上で稼働させています。AVEはパフォーマンスに対する高い信頼性に加え、冗長性をももたらしてくれました。”

Nick Lazaridis氏 Infra-Metals南部地域ITマネージャ

仮想環境がもたらしたフェイルセーフ

“Infra-MetalsはNetilla ハードウェアプラットフォームをいまだ持っており、マイグレーション中はAVEを併用していました。AVEは広範囲なビジネスアプリケーションへウェブブラウザによるセキュアなアクセスを実現する仮想アプリケーションアクセスゲートウェイです。リモートユーザは迅速且つセキュアに、今日のIT環境におけるあらゆるリソースへアクセスすることができます。”

Microsoft OutlookやWindowsリモートデスクトップサービス、サーバーベースアプリケーションに対しSSLトンネルを通じてクライアントサーバ環境のようにアクセスすることができるのです。Infra-Metalsでは、AVEを一台と二台のDell PowerEdge サーバを稼働させており、15台の仮想サーバーとハードウェアを共有しています。

Infra-Metalsの南部地域ITマネージャであるNick Lazaridis氏は次のように述べています。

“ERPシステムやMicrosoft Office、Outlook Web Access、telnetアプリケーション、イントラネットをAVE上で稼働させています。AVEはパフォーマンスに対する高い信頼性に加え、冗長性をももたらしてくれました。”

あらゆる物理的アプライアンスのようにデバイスがおちる可能性があるのであれば、修理をするかリプレイスするかのどちらかが必要となりますが、仮想アプライアンスにより、もし仮想マシンホストの一つに何か障害があった場合、そこで稼働していた全てのゲストマシンは人の手を介さずに他のホストへフェイルオーバーすることができます。

AEPプラチナサービスパートナーであり、Net Direct SystemsのシニアソリューションコンサルタントであるJason Schroeder氏は次のように述べています。

“仮想化には多くの利点が存在します物理的マシンの導入によるラックススペースがなく、電源や冷却装置に問題を抱えている場合、仮想化技術ではアプライアンスのフルバックアップを行えばよいので、リカバリは迅速で容易なものとなります。また、ハードウェア交換をせずとも環境の発展に対応する能力を備えています。我々は機能による価格設定とその優れたパフォーマンス性からAVEをお勧めします。他のリモートアクセスアプライアンスでは実現できない多くの機能を利用することができるでしょう。”

他の仮想プライベートネットワーク技術とAVEが違う点はデバイスの迅速なセットアップと迅速な導入を促す容易なコンフィグレーションです。また、AVEは他の競合製品よりも柔軟性の高いリモートアクセスオプションを持っています。

“もし承認されたユーザがインターネット接続できる環境にいたならば、そのユーザはAVEへアクセスし、その先のアプリケーションへとアクセスすることができるのです。”

Lazaridis氏は更に次のように続けています。“リモートアクセスを必要とする人々へ、私はAVEを強くお勧めします。仮想化環境におけるあらゆる仮想サーバにも冗長性をもたらす素晴らしいプラットフォームです。セキュアなネットワーク及びリモートアクセスを提供することにより、我々のビジネス要件にマッチしていると同時にユーザにも広く愛されています。ユーザは遠隔地にいてもまるでオフィスにいるかのように自分たちのアプリケーションを操作することができます。我々はAVEを使い続けるつもりです。それはAVEが高いパフォーマンス性を誇る他に類を見ないソリューションだからです。”

AVEが選ばれた理由

AEP NetworksのAVEはユーザによって異なるリモートアクセスの形態に対し例えばサーバの統合やビジネス継続性、グリーンITのサポートといった仮想化技術の恩恵と共に柔軟性をも提供します。営業及び管理チームに対しアプリケーションを開発し続けていくように我々は、路上にしようとオフィスにしようと認証されたユーザが、信頼性が高く、セキュアなリモートアクセスを行うことができるようAVEを提供し続けて行きます。”

AEP Networks社について

AEP Networks社は政府、企業、通信キャリア向けにセキュアな通信ネットワークおよびアプリケーションアクセスを提供しています。私たちはシステムインテグレータ、マネージドサービスプロバイダ、代理店と共に、私たちの先進の製品と統合ソリューションを提供すべく活動しています。

- 幅広い通信プロトコルとネットワーク構成をサポートする強化されたセキュアな音声・マルチサービスデータプラットフォーム
- サイト間セキュリティとリモートアクセス用IPSecVPN暗号化による高信頼ネットワーク
- 暗号化キーの管理と保管用ハードウェアセキュリティモジュール(HSM)
- アプリケーションレイヤセキュリティゲートウェイとSSL VPNによる、ネットワークとアプリケーションへのセキュアなリモートアクセス